

My Town

シスター、おはようございます！

兄弟フランシスコがあなたに話しかけています！

私の町へようこそ！私もシスター・クララの名においてあなたに挨拶します。彼女はあなたに会いに行き、抱擁であなたを歓迎したいと思っていましたが、サンダミアーノに残ることを選択しました。その理由は、すでにご存知のとおりです！しかし、私は、彼女がしばらくの間、あなたのためだけに聖櫃の前で夜の祈りを延ばしてきたことを保証できます。この瞬間、別の日が始まります。寝たきりではありますが、彼女はいつでもシスターたちのために尽くしています。

今日、あなたが初めて私たちの町を訪れてくださって、私たちはとても嬉しく思います。私たちがいた頃、町は今あなたが見ているものよりずっと小さかったことを覚えておいてください。町は中央の広場、タウンスクエアから始まります。その広場には塔と神殿があり、昔はミネルヴァ神に捧げられていました。そして今では、イエスの母マリアに奉納されていると聞きました。

もし時間があれば、急勾配で狭く曲がりくねった道を散策してみてください。魅惑的な場所です。多くの祝祭の夜、多くの愛のセレナーデ、多くの挫折と若き日の夢の証人でした
…

サン・ルフィーノ大聖堂を訪れてください。大聖堂は大きく様変わりし、今では外観しかわかりません。子供の頃、母の手を握ってミサに出席するためによく通っていたので、何度も見ていましたことを覚えています。正直に言うと、大聖堂の形をすべて理解することはできませんでしたが、長い間、黙って見とっていました。

教会に入ると、右側に洗礼盤があります。そうです、本物です。私は生まれてすぐに洗礼を受けた場所なので、とても気に入っています。シスター・クララもそうでした。皆さんがあそこを訪れてくださって、洗礼が私にとって何を意味するのかをよりよく理解していましたことを嬉しく思います。正直に言うと、私自身もそれを理解するのにとても努力しました。

最初は、洗礼を受けるということは、時々ミサに行き、教理教育を受け、できるときには施しをすることだと思っていました。後に、これらはすべて忘れてしまい、派手に着飾り

、愚か者のように人生を楽しむようになりました...「パーティー王」になって。正直に言うと、私は誰よりも虚栄心の中で生きていました。そして父は私の願いをすべて叶えてくれました。

こうして私は、自分の町がある丘の頂上にある要塞の破壊に貢献したのです。その町は、人々が盾やあらゆる種類の鎧で覆われ、私の夢に何度も現れた町でした。数年後、私は戦争ゲームに引き込まれ、クララ家の属する町の高貴な人々を倒すことで、町の発展に貢献できると考えました。私は何て愚かだったのでしょうか。父はこれらすべてを支えてくれましたが、母は喜びと不安の間で引き裂かれながら見守っていました。

洗礼を受けることが何を意味するのか理解するのに長い時間がかかりました。何て長い道のりだったのでしょう...何て多くの扉を開かなければならなかつたのでしょうか、私は何て愚かなことをしたのでしょうか。正直に言うと、私の時代、そして現在では、自分自身を知り、自分のアイデンティティを築くことは非常に難しいのです。

ハンセン病患者に仕えることで貧しい人々を理解し、サン・ダミアーノ十字架の前で何度も祈り、福音を聞いた後、私はようやく自分の道を見つけ始めました。私は自分の人生を再構築し、王国の市民であることの意味を理解し始めました。

新しい人生への第一歩を踏み出したある日、恥ずかしげもなくサン・ルフィーノ広場で石を乞いに行つたことを覚えています。私はサン・ダミアーノの小さな教会を再建したかったのです。物乞いをするときにフランス語を話したので、吟遊詩人だと思われたことをとても恥ずかしく思いました。知らないうちに、オフレドウッヂオの若い姪のクレアが、ペルシャブラインドの窓の後ろで私をスパイしていました。ああ...女性って、みんな同じだ。(* サント・クレア(キアラ・オフレドウッヂ・ディ・ファヴァローネ)

これが私のアイデンティティーを探す長い旅の始まりだったと思います。それは彼女にとっても同じでした。何年も後、私がサン・ルフィーノで四旬節の説教をしていたとき、彼女がこっそりとやって来て、私の道を歩みたいと告げたのを覚えています。

彼女にとってもそれは長く、そして苦痛な道のりでした。なぜなら、彼女は美しく、か弱く、裕福なだけでなく、アッシジで最も影響力のある一家の娘だったからです。それでも彼女は決してひるむことはありませんでした。私はいつも彼女の穏やかな勇気、大胆さ、そして毅然とした態度を尊敬していました。本当に、彼女は私に多くのことを教えてくれました... !

シスター、あなたとはもう長くは話せません。もうあなたと別れなければなりませんが、私が去る前に、この日のことを決して忘れないでほしいと思います。あなたや他の誰かが私をモデルとみなすとは思いませんが、探求をあきらめないでください。挑戦し、失敗し、再び立ち上がり、忍耐し、次から次へと努力を重ね、さらにまた努力を重ねてください…！

ついに、ほとんど気づかないうちに、あなたは神の顔を自分の魂に刻み込むことに成功するだろうと私は確信しています。そして、自分自身を手放し、自分のエゴイズムから抜け出し、この世に縛り付けているすべてのものを手放すことができ、自由の歌があなたの心の中で自然に響き渡るでしょう。そのとき初めて、あなたは本当に自分自身になり始め、自分のアイデンティティを発見し、王国の市民としての任務を引き受けることができるでしょう。

シスター、私の平和の抱擁を受け取ってください。

あなたの兄弟フランシスコ

2024年7月22日

アルミダ

アッシジ：私たちの魂の故郷

親愛なる姉妹の皆さん、

フランシスコの話を聞くのはいつも素晴らしいことです！

そして今日、私と一緒に、遠い土地からさまざまな方法でここまで来た皆さん一人一人に彼が微笑んでいることを知るのは素晴らしいことです。

信仰と探求の疲労を経験し、完全に人間であり続けた彼は、本当に私たちの兄弟であり友人です。

アッシジは彼の街であると同時に、私たちの街でもあります。

私はここが私の魂の故郷であると感じ、「人はフランシスコ修道士として生まれなければならない」ことを発見しました。

おそらく私たちはすぐには気づかないかもしれません、フランシスコとクララに会うと、これが私たちの道であると心の中で感じ、喜びを見出します。この祝福された土地のあらゆる場所には独自の秘密が隠されており、私たちの心に語りかけます。

私もフランシスコと同じように、理解するまで、生きた信仰を発見するまで、そして何よりも自分の使命を直感するまでに長い時間がかかりました。

私の家族は熱心なカトリック教徒ではなく、私は幼い頃は信仰から離れて暮らしていました。洗礼は受けましたが、それ以上のことはしていません。洗礼が何を意味するのか、まったく理解していませんでした。

私は活発で好奇心旺盛で、落ち着きがなく、気楽な少女でした。

ある日、私の人生に何かが起こりました。14歳のとき、裕福な若い女性が妻や母親としての生活に備えるためのスイスの寄宿学校に留学することになりました。

私はそれを知りませんでしたが、神はこの学校で私を待っていました！

すべての若い女性と同じように、私は自分の愛を見つけ、ダンス、パーティー、会合の合間に人生を過ごすことを夢見ていました。

それでも私は落ち着きませんでした。私のような学生が、消えることのない、消えることのない、永遠で美しい愛、イエスの愛、聖心の愛について私に話してくれたのです。私の

前に新しい地平が開かれました。その時、私は愛されていると理解し、愛されている女性として、自分の夢を追いながら人生を生きることができると理解しました。

そして私は夢でいっぱいでした！

18歳で学業を終えて家に帰ったとき、贅沢な服、ダンス、パーティーに満ちた生活はもう自分には十分ではないことに気づきました。それでは幸せになれませんでした。探し回って見つけたのは、私のブルジョア生活に小さな亀裂が開いたことでした。

友人のリタ・トノーリと一緒に、私の住む街ミラノの貧しい子供たちの世話をし始めました。

フランチェスコの時代のアッシジと同じように、ミラノにも裕福な地区（私が住んでいたところ）と貧しい地区（私はその存在を知りませんでした）がありました。

フランチェスコのように、私は彼らの間を行き来しました。そして心の中で幸せを感じ、完全に喜びにあふれた人生の意味を感じました。

しかし、私の探求は決して終わっていませんでした。私が自分の使命を理解するまで何年もかかりました。

心の中では、これらの小さな子供たちの世話をするだけではなく、社会構造を変えることが重要だと感じていました。どうすればそれができるでしょうか？

私はまだ現実の生活や苦しみを経験していない、ただの若い女性でした。

私は苦しんでいる人たちと一緒に働いていましたが、貧困や飢餓、不公平を自分の生活中で実際に感じることなく、外側から少しだけ働いていました。

不公平？

考えてみれば、私も女性として不公平を経験しました。それは微妙な形で、おそらく控えめなものでしたが、本当の不公平、本当の差別でした。

例えば、私の2人の男の兄弟は卒業していましたが（1人は医者で、もう1人はエンジニアでした）、私たち女の子は学校に進学しませんでした。

それだけでなく、男性は自由に家を出られましたが、私たちは一人で出かけたり、人前で話したりすることに慣れていませんでした。私たちの服装は自由に動くことを妨げ、どんな犠牲を払っても美しく見えなければなりませんでした。

何よりも、私たちは社会生活や政治生活から排除されていました。

私たちには投票権はありませんでした！教会でさえ、私たちは完全に受動的でした。

女性に対する差別や偏見がまだたくさんあることを私はよく知っています。

私はあなたに言います：あきらめないでください！強くなり、未来に挑戦してください！他の女性のために人生の規則を書いた最初の女性であるクララの例に勇気を持って従ってください。最後まであなたの心と主イエスに従うために、あえて規則を破ってください。

勇気を出して、最愛の姉妹たちよ！

あなたの姉妹アルミダ

2024年7月23日

大聖堂と墓

シスター、おはようございます！

フランシスコ兄弟があなたに語りかけます。

この聖地で生まれた愛の偉大な奇跡に加わらせてくださいありがとうございます。

今日はアッシジで、私とシスター・クララの遺体が安置されている場所を訪問します。

私の町への訪問は、あなたの町があなたにとってどのような意味を持つかを示す印のようなものです。これは、私たちが町を放棄しないように求められているからです。結局のところ、私たちが常に献身しなければならないのは町なのです。したがって、私たちは町に背を向けることはできません。しかし、繰り返しますが、あなたが町に戻るとき、あなたはファヴァローネの子供やピエトロ・ディ・ベルナルドネの長子として戻るのではなく、シスター・クララやシスター・フランシスコのように、素朴で小さなシスターとして戻るのです。

ですから、今日アッシジに戻るとき、私は心から皆さんにお願いし、またシスター・クララも皆さんにお願いしています。私たちの謙虚な体の上に建てられた、彼らがよく話していた大きなバジリカを賞賛して気を散らさないようにしてください。むしろ、私たちの小ささという観点から、壮大な作品のインスピレーションを得ている多くの芸術家や詩人、今日の多くの手工芸家が創造性の成果で市場を埋め尽くし、多くの家族がそこにあるホテルやレストランで生計を立てていることにもっと注意を払ってください。

今日アッシジに戻り、その小さな規模もあって慌ただしいと感じたら、宣教師としての人生の特權的な場所である自分の街や町について考え、仕事の価値を見つめてください。

仕事は恵みであり、人類の普遍的な使命であり、宣教師であるあなたにとって、仕事は使命を果たすための最も優れた場所であることを忘れないでください。

仕事はあなたが成長し、個人として完成するための手段であることを決して忘れないでください。

はい、姉妹よ、あなたが今何を考えているか、私にはわかります。私たちが望む仕事を見つけることは必ずしも容易ではなく、望まない仕事を見つけることさえ容易ではないことがよくあります。

そのとき、あなたは、小さな姉妹のように、生き残るために見つけたものに適応するのです。

これは多くの苦しみを意味することは知っています。私自身、父の仕事を辞めた後にそれを経験しましたが、その時、貧しい人々や疎外された人々と一緒にすることを学んだことを思い出します。その後、仕事に関連する問題もキリストの救済活動と一緒にになる方法であることを理解しました。

姉妹よ、これらのことについて話すことは、私の時代と同じように難しいことを私はよく知っています。人間のすべての問題が世俗的な側面を帯びる今、あなたの時代では、さらに困難です。

しかし、必要なことが一つあります。あなたにはそれが明らかであるはずです。それで私はあなたとの会話、そして仕事についての話を終えたいと思います。仕事は非常に重要であり、神の恵みであることを認識して、私たちの中にある神の命というより広い文脈に置く必要があります。

これは、私たちが生きるために働くべきであり、働くために生きるべきではないことを意味します。このようにして、他の人や現世の財産のために役立つ、あなたの中の祈りと献身の精神を失ってはなりません。

姉妹よ、平和があなたとともにありますように。

これはあなたの兄弟からのあなたへの願いです

フランシスコ

アルミダ

充実した人生を送るために

姉妹の皆さん、

私は長い間、故郷の町を離れ、隠遁して修道院で暮らすことを考えていたことを告白します。

それが最良の選択のように思えましたが、そうではありませんでした。少しずつ理解し、ベネディクト15世教皇が私の使命はイタリアだと告げたとき、ようやく理解しました。私はすでに35歳でしたが、まだ自分の使命を探していました。教皇は私の心の意図を確認してくれました。それは、私のすべてが神に捧げられているので、世界に何も与えずに生きることです。

私は、神への愛から、自分の町に留まり、世界に留まりながら自分の土地で福音を宣べ伝えることを決意した聖フランシスコに助けられました。

そしてジェメリ神父は、キリスト教の最初の数世紀の女性たち、マグダラのマリア、プリシラ、フォイベ、ペルペトゥア、フェリチタについて考えるようになると私に勧めました。

確かに、何世紀にもわたって、女性たちは多くの不当な扱いや差別に苦しんできました。私自身も、女性であることで苦しました（たとえば、私は卒業できなかつたし、2人の兄弟のような自由もなかつたし、投票もできなかつたなど）。女性は社会や教会で発言する機会があまりありませんでした。

しかし、常にそうだったわけではなく、これからもそうでしょう。

また、何世紀にもわたって、福音の光の中で自分らしくいる強さを見出した多くの女性たちの物語を振り返り、熟考してください。

教会のシノドスの旅に参加し、女性としてのあなたへの神の賜物を信じ、勇気を出して新しい一步を踏み出してください！

姉妹の皆さん、あなたたちも、世界の路上で福音の証人、宣教者となる恵みと情熱を発見したのです。

貧困の中で生きるという選択によって平和になり、貞潔な関係の中で自由で本物になり、成熟した責任ある従順さの認識によって喜びがもたらされます…全世界があなた方のものであるため、福音を証ししに行きましょう。

あなた方の命は、私の命と同様に、主の手の中にあります。

私たちは、この世に生きることで、皆と同じようになり、自分の手で自活することを選びました。

私が生きていた時代には、多くの女性が働いておらず、家の外で働くこともできず、仕事は勝利でした。そして、仕事が苦労であるとしても、それは私たちの創造性の表現であり、より美しく兄弟愛に満ちた世界を築くことへの参加でもあります。当時、仕事は私たちを経済的に自立させ、これは私たちにとって重要です。

どうかそれを忘れないでください！そして、人生を精一杯生きてください！

あなたの姉妹アルミダ

ポルツィウンコラ

シスター、おはようございます！

兄弟フランシスコがあなたに語りかけます。

今日、あなたが、私がとても愛した場所、ポルツィウンコラを訪れるることを知っているので、私は幸せです！

この場所は私にどれほど多くの思い出を思い起こさせますか！

その壁の中でどれほど深い経験をしたか！主との出会いでどれほど多くのインスピレーションを得たか！私が常に修道会の厩舎だと思っていた場所で、兄弟たちからどれほどの優しさを受けたか！…

しかし、多くの心配、試練、葛藤もありました！そうです、なぜなら、私たちはそれに直面しなければなりません、ポルツィウンコラにもこれらがありました。実際、人生はこれらすべてで構成されています。

あなたがこの場所に来るのは初めてではないことを知っています。

この教会で私に起きた非常に重要な出来事をあなたに思い出させたいと思います。私はあなたに特別な愛情を持っているので、私の人生で最も重要な出来事をいつもあなたと共有したいと思っています。

ある日、私がまだ幼く、進むべき道がはっきりしていなかった頃、私は福音との根本的な出会いのためにここにきました。私がそれを「根本的な」と定義するのは、その瞬間、私の心を明るい光が照らしたように感じたからです。そして、至高の神が、私が福音の道に従って生き、すべての人に神の愛を受け入れ、悔い改めるよう勧めるべきであることを私に明らかにしました。

その時から、すべての疑問は消え去りました。そしてそれ以降、他の誰も私に何をすべきかを教えることはできませんでした。福音が私の唯一の教師になったからです。このようにして、私の人生、私の役割、私の使命は、神は愛であり、神は私たちを愛し、私たちも神を愛さなければならないことを他の人に宣言することであるべきだと理解しました。

聖マリア・デ・アンジェリ教会に最初の修道士が到着して以来、彼らが最初にしたことは、世界の四隅に出かけて行き、それを大きな十字架として受け入れ、人生と言葉を通して

神の私たちへの終わりのない愛を宣言することだったことを、皆さんはよくご存知でしょう。

シスター、これが、私の街で過ごした日々の終わりに、今日あなたがすべきことです。最初の修道士たちと同じように、あなたも世界に派遣されるでしょう。あなたは、シスター・クララと私の思い出を携えて、神の祝福とともに旅立つでしょう。私たちは二人ともあなたを愛しているからです。しかし、何よりも、シスター、あなたが受け取った神の言葉のこの小さな種を、土でできた花瓶のように、あなたの心の中に保存してください。そうすれば、根を張り、多くの実を結ぶでしょう。

今、あなたは「自分の街に戻る」ので、おそらくあなたは恐怖でいっぱい、何をすべきか、どのように行動すべきかと尋ね始めているでしょう。最も重要なことは「あること」であり、それが可能であれば、その後にのみ「すること」が続くということをお伝えさせてください。前者の方が重要です。後者は、前者なしでは何も意味しません。したがって、何よりも、「自分らしく」なるよう努めてください。自分のアイデンティティを発見し、それをたどり、日々それを完璧にしてください。あなたの使命を実現する最良の方法は、「自分らしく」なることであり、あなたの「存在」は小さなシスターのものです。ですから、私は、私の兄弟たちによくするように、あなたたちに勧めます。あなたたちが宣教の場であるこの世界に行くとき、議論や論争に加わらず、他人を裁かず、柔軟で、平和で、冷静で、優しく、謙虚で、すべての人に優しく話し、愛らしくありなさい。そして、あなたが入るどの家でも、まず第一に、この家に平和をと言いなさい。

姉妹よ、行きなさい。落ち着いて、信頼に満ちて出かけなさい。あなたの顔の笑顔が消えることがありませんように。あなたの目がいつも優しく輝き、あなたの耳がいつも聞く準備ができ、あなたの腕が歓迎のために開かれますように。行きなさい！信仰の光に照らされ、希望の力に突き動かされ、愛の炎に照らされて。

姉妹よ、主があなたを祝福し、いつも守ってくださいますように。

すべての瞬間に主の慈悲を体験してください。

主の視線の下、地平線に向かって歩けば、主の平和の賜物に決して欠けることはありません。

私の姉妹よ、主があなたを祝福しますように。

あなたの兄弟
フランシスコ

アルミダ

マリアの眼差しの下で

聖心の最愛なる姉妹の皆さん、

皆さんは今日、私たちフランシスコ会士全員にとって貴重な真珠であるポルチウンクラを囲む聖マリア天使の大聖堂に向かって歩いています。

そうです、フランシスコが私たちに語ったように貴重な真珠です。私たちにとっても貴重な真珠です。

実際、教皇ベネディクト 15 世が私にイタリア全土の若い女性の養成を任せた後、私は幸せだったと同時に落ち着かなかつたことを皆さんに隠すつもりはありません。

それで私はアッシジに行きました。それは 1918 年のこと、第二次世界大戦が終わつたばかりでした。私はポルチウンクラに行き、そこで長い間祈りました。今晚皆さんがそうするでしょう。

小さき兄弟会の総長の同意を得て、私はここで世界における使徒職のために神に個人的に献身しました。私は平安でした！

その瞬間の深い喜びの中で、私は神に尋ねました。「主よ、私のようにこの道を歩むことを望む姉妹を私に与えてくださいますか？」そして心の奥底で主が私に答えているように思いました。「はい」。

そしてここに、私の姉妹たち、世界の多くの場所から来たあなたたちは美しく、勇敢で、愛と決意に燃えています。

主よ、ありがとう。あなたの約束は私たちの願いを倍増させます！

あなたたちが夕方の間、ポルティウンクラに留まって祈りと崇拝を捧げることを選んだことを嬉しく思います。いつもここにいるマリアの視線の下で。私はいつも夜が好きでした。姉妹のような月と明るく美しい星々。

夜になると、日中の暑さは静まり、声や雑音は静まり、私たちは愛する方法で神の前に留まります！かわいそうな愛すべき生き物たち。

あなたの祈りが想像どおりでなくとも恐れないとください。あなたの心の中に影や光が浮かぶかもしれません…しかし、あなたは神の前にいて、神はあなたを知り、あなたを愛しています。恐れることはありません。

幸せな時も暗い時も、常に主の愛を確信してください、姉妹よ。

また、この理想と使命を抱くあなたの姉妹たちが、あなたが彼女たちのために祈っているように、毎日あなたのために祈っていることも知ってください。

フランシスコはここで友愛の力を体験しました。あなたにとっても、女子友愛が力となりますように！

旅の途中で、各姉妹たちと一緒に、彼女たちに支えられていると感じてください。

ここからフランシスコは、福音書に記されているように、「狼の真ん中にいる羊のように」、修道士たちを世界の道へと派遣しました。

友愛と使命は一緒に進み、私は自分の人生でこれを経験しました。

そうです、なぜなら、私たちは行くとき孤独ではなく、私たちが宣べ伝える福音は友愛のプログラムだからです。フランシスコ教皇が私たちに思い出させてくれるように、「すべての兄弟姉妹」です！

私たちは姉妹として、まさに共同体の経験から始まる普遍的な友愛を生きるために派遣されているのです。

ポルティウンクラで共に過ごした皆さんとの静かな祈りが、フランシスコとクララのように、喜びをもって再び出発し、世界の果てまで行く力を与えてくれることを願っています。

あなたの姉妹アルミダ

2024年7月25日

サンダミアーノ

シスター、おはようございます！

兄弟フランシスコがあなたに話しかけます。

少し前にレオーネ兄弟が来て、サンダミアーノのシスターたちが喜んであなたを待っていると伝えてくれました。

彼は今朝早くそこにいて、彼女たちと一緒にミサを捧げましたが、あなたの到着を準備している間、彼女たちが少し心配しているのに気づいたと私に話してくれました。

本当に、あなたがこの愛すべき場所に来てくれて嬉しいです。この場所は私とクレア姉妹だけでなく、あなたにもとても愛されています。最初の12人の宣教師が最初の誓願を立てた場所ですから。

宣教師としてのあなたの状況を理解するのは非常に難しいことがよくありますが、落胆しないでください。少しずつ、「世界の道で生きる」とはどういうことかがわかるでしょう。

サンダミアーノに行くには、オリーブと糸杉に囲まれたいつもの小石の道をたどることになるかもしれません。

福音への献身を新たにするために、夜の影に守られて誰にも気づかれずにいたかったのはわかっています。

この夜、まったく秘密裏に行われた行為は、ある意味で、クララ修道女の献身を思い出させます。クララ修道女は、夜、父の家から飛び立ち、ポルツィウンコラで主に身を捧げました。そして、勇敢に数々の試練を乗り越えた後、ついにサン・ダミアーノの壁の中に避難し、他の修道女たちとともに、約束したことに忠実に従うという大冒険を生きました。あなたはアッシジに到着した最初の日に、このことを思い出しました。

クララ修道女の最も尊敬する美德の1つは、彼女の忠実さであることを告白しなければなりません。そうです。なぜなら、一瞬の熱意に動かされて「私は献身します」と言うことと、人生の問題や葛藤の真っ只中に同じ熱意を保つことは別のことだからです。そして、

私は、ファヴァローネの洗練された高貴な娘にとって、最初から物事は容易ではなかったことを覚えています。彼女が父の家を出て最初の数日間避難していたバスティアのベネディクト会修道院から無理やり連れ去ろうとした従兄弟のモナルドと他の装甲兵の前で、彼女はどれほどの勇気を示したことでしょう。パンツァのサンタンジェロを襲撃して妹のアグネーゼを誘拐しようとした同じ兵士の前で、彼女はどれほどの毅然とした態度を示したことでしょう。貧困の規則を緩和しようと主張した枢機卿と教皇の前で、彼女はどれほどの魂の強さを示したことでしょう。ある日主が私に彼らのために啓示した生命の形の純粋さを守るために、彼女はどれほどの苦しみに直面したことでしょう。25年間の闘病の間、どれほどの忍耐と冷静さを示したことでしょう。アッシジとその周辺を侵略することを決意したサラセン軍の脅威の前で、貞操を守るためにどれほどの勇敢で英雄的な行為を示したことでしょう。

あなたも、修道女たちの修道院の隅々まで熱心に訪れた際に、かつてのクララの強さと勇気を自分の目で見られたと思います。

修道女たちは、この女性が主イエス・キリストの福音を忠実に守って歩んだ英雄的な旅について、あなたに雄弁に語ったに違いありません。殺風景な壁、素朴なテーブルの小さな聖歌隊席、天井のない屋根の梁、土の床、食堂の厳肅さ。

今日、福音に従って生きるという決意を新たにする時が来ました。サン・ダミアーノ十字架の優しい視線の下で、クララ修道女の模範に導かれるよう、私はあなたに勧めます。

そうすれば、貧困とは所有権を放棄して自由になることだと、よりよく理解できるようになります。なぜなら、貧困はあなたを物から切り離すだけでなく、あなた自身からも切り離すからです。そうすれば、あなたは他者を受け入れ、あらゆる形の貧困の犠牲者の運命に関わることができるでしょう。また、すべての人類が利用すべき物品を管理する際の正義感も学びます。約束したことに一貫性を保つよう促され、ライフスタイル、行動、物事、存在においてシンプルさを前提とすることを学びます。

服従とは、何よりも、他者、出来事、創造を通して表現される神の意志に耳を傾け、従うという絶え間ない努力にあることを理解します。服従の兄弟的側面、最も難しいのは、子供じみた服従や奴隸状態ではなく、職場での責任ある行為と、本会内で「検証」する能力であることを学びます。

最後に、貞潔とは、何よりも、一人の人だけと共有する心ではなく、分割されていない心ですべての人を愛する自由であることに気付くでしょう。神は分割された心を愛しません

。あなたは、あなたの奉獻された貞潔が、神の唯一かつ普遍的な愛に対する「完全な」完全な心の応答であることを理解するでしょう。あなたは、あなたの愛が実りあるものでなければならないことに気づくでしょう。それは、肉の実り、子供たちではなく、あなたの言葉、考え、行動、あなたの自己と時間、あなたの存在そのものなのです…

姉妹よ、神があなたの心と精神、そしてあなたの存在のすべてに、今日一日、おられますように。

これはあなたの兄弟の願いです

フランシスコ

アルミダ

サン・ダミアーノでの私たちの起源

親愛なる姉妹の皆さん、

ポルツィウンコラを貴重な真珠に例えるなら、サン・ダミアーノは私たち全員にとってダイヤモンドのようなものです。最も貴重な石です！

私たちはたった 12 人で、イタリア中に数人が散らばっていました。

1919 年 11 月 19 日は、皆さん一人一人のおかげで今日まで続く、素晴らしい冒険の始まりでした！

姉妹の皆さん、ありがとうございます。皆さんのがここにいて「はい」と繰り返してくださいってとても嬉しいです。

私たちの修道会がまさにここで始まったのは偶然ではないのではないかと何度も考えました。実際、ここはフランシスコが召命の初めに自らの手で修復した教会であり、ここで彼は「教会を修復する」という召命を受けました（十字架にかけられた方の御声から）。共同責任を持ち、預言的な信徒女性として教会で生きるよう召されている私たちにも、この壁から今も響き渡るメッセージです。

私が生きていた頃、女性は教会で発言権を持っていませんでした。今、状況はゆっくりと変化していますが、私にとってはまだまだ道のりは遠いように思えます。

ここは、フランシスコに従うことを決意したときに抱いた理想に忠実なクララが人生を送った場所です。彼女の忠実さは私たちにとってのしるしですが、忠実さは停滞を意味するものではないことをクララは私たちに思い出させてくれます。クララは死ぬまで忠実であり続け、フランシスコのメッセージを自分と姉妹たちに解釈し、女性としての人生に適用し、頼ってきた人々を歓迎することでそれを実践しました。

この小さくてシンプルな教会は、小ささが怖がる必要はないことを思い出させてくれます。重要なのは、この場所がそうなったように、福音のメッセージを維持し、証言することができる重要な場所になることです。

今晚、姉妹よ、あなたが小さくて貧しいとしても恐れないでください。あなたも、最愛の妹よ、今晚ここで、姉妹の月と星に囲まれ、多くの姉妹に囲まれ、あなたの国とあなたの人々を心に抱き、祭壇に上って捧げ物をしようとしています。

最大の愛があなたの心の中で響き渡っています…もう少し立ち止まって、あなたがこれから行う行為の重要性をもう一度考えてください。あなたは祭壇に自分の一部ではなく、むしろあなた自身のすべてを捧げるのです。考えてみてください。恐れて引き返すのではなく、完全な認識と限りない信頼、熱烈な愛をもって神に会うのです。

神はあなたを召されました。あなたはこれを疑うことはできません。そして今日、あなたはその招待に応えています。恐れることはありません。神はあなたの力となるでしょう。なぜなら、あなたは自分自身を完全に神に捧げているからです…

神の恵みがあなたに降りて、第二の洗礼のようにあなたを新たにしますように。あなたはキリストの王権の宣教師なのです！イエスは王であり、あなたは、彼の王国の拡大のために祈り、愛し、働き、戦い、苦しむ花嫁です。

あなたの親密さの高さと偉大さ、あなたのこの使命の価値を感じてください…

貞潔、貧困、従順において、あなたは世界の使徒となるでしょう。謙虚さ、単純さ、慈愛において、あなたは兄弟姉妹にイエスをもたらすでしょう。イエスは、あなたの中で疑いのない主権者として君臨しています。

あなたの十字架にキスをしてください。十字架の上でイエスと結ばれて初めて、あなたは人生で永続的な実を結ぶことができます。

イエスにすがりつき、イエスを愛し、イエスに愛されるという熱烈な願いに身を捧げ、勇気をもって人生に臨んでください。

キリストの王権の宣教師として行ってください…。

それでは、姉妹たちよ、勇気と愛をもって行ってください。私はあなたに全幅の信頼を置いています！

あなたの姉妹アルミダ

2024年7月26日

ラヴェルナ

兄弟フランシスコが皆さんに語りかけます。

ラヴェルナのこの山にたどり着くまで、皆さんが長い道のりを旅してきたことは知っています。

この聖なる山へようこそ。私の苦しみと喜びの頂点です。

今日、私はこの美しい場所で私に起こったことを皆さんにお話ししたいと思いますが、正直に言うと、どう話せばいいのかさえわかりません。

実際、それはとても奇妙で特別なことであり、素晴らしい崇高なことでした。私は今でも混乱し、驚き、そして何よりも恥ずかしく感じています。

はい、それが真実です。

私たちの弱さを考えると、神の愛の驚異、無償、そして神の愛の壮大さを実際に体験した後、これ以外の感情はありません。

ここで起こったことはすべて、神の愛の結実にほかならないと、私はきっぱり言います。はつきりと説明することはできませんが、偶然、偶発的、または偶然に起こったのではないかと私は信じています。ずっと昔に始まったのではないかという印象を受けます。

皆さんにもっと理解していただくために、私は、すべてはサンダミアーノで始まったと思います。私の人生で最も美しいあの朝、サンダミアーノの十字架の前で默想したときです。確かに、クレア姉妹は今、私に約束したように、主の前にひれ伏して皆さんのために祈っていると言えるでしょう！

そうです、そのときから、十字架にかけられた主が私の最も深いところに入り、私の全身に侵入し、私の存在に新しい意味を与えてくれたことを覚えています。

時が経つにつれ、キリストの苦しみと受難は人間の苦しみと受難であったと確信するようになりました。

この感覚は、私の中で大きな力を持つようになり、何度も私を孤独な森へと力強く駆り立て、泣くことで安らぎを見いだそうとしました。

それは、オルランド伯爵から受け取った時から頻繁に訪れていた高山に私を駆り立てたのと同じ力でした。

その年の8月中旬にそこに登ったとき、兄弟たちの誤解と、彼らに仕える能力がないという自覚、そして自分をコントロールできないという自覚から、私の心は痛みでいっぱいだ

ったことを私は決して忘れません。そこで、聖ミケーレの四旬節に、仲間たちと一緒に戻ってこの巨大な岩の静寂の中に身を隠し、祈り、沈黙することにしました。

それは甘美で安らぎに満ちた40日間でしたが、同時に激しい痛み、説明できない苦しみ、言い表せないほどの苦悩、無限の憂鬱でもありました…ある日、私はもう我慢できなくなり、愛と情熱のしるしとして、自分を忘れて岩の上にひれ伏しました。

その後、夜明けの朝に目が覚め、私の手…足…脇腹…から冷たい血がにじみ出ていることに気づきました。

混乱が大きかったことはすでにお話ししましたが、恥ずかしさはもっと大きかったです。

私は兄弟たちのことを考え、また、私の人々のこととも考えました。そして、この秘密を守ることは不可能だっただろうと理解しました。

それで、私は誰よりも小さく、最悪で、罪人中の罪人であると感じました。そのために、私は神の意志に身を委ね、子供のように神の慈悲の子宫に身を委ねなければなりませんでした。

その時から、私には神だけが十分であると確信をもって言えるようになりました。

姉妹よ、神はなんと素晴らしいのでしょうか。

神は聖なる方であり、唯一無二の存在です。奇跡を起こすのは神です。神は強さ、力、全能の最高の王、父、天と地の王です。神は三位一体であり、神の神、善良さ、すべての善、最高の善、生ける真の神です。

神は愛、慈悲、知恵、謙虚さ、忍耐、美しさ、優しさです。主は安心、静けさ、喜び、希望、歓喜、正義、節制です。主は私たちの豊かさと充実です。

シスター、主は私たちの希望、信仰、慈悲です。主は私たちの永遠の命、私たちの偉大で称賛に値する主、私たちの慈悲深い救世主です。

シスター、私があなたにこのように話すこと、私がすでにレオーネ修道士に書いたのと同じことを繰り返すことを許してください。しかし、神に関しては、私は自分の熱意を抑えることができません。それは私の中で泡立ち始める水のようで、澄んでいて新鮮で…尽きることのない水です。

シスター、私が言ったことすべてから、あなたはなぜこの聖なる山にいるのか理解するでしょう。

あなたは、樹齢 100 年の木々、葉の茂った枝、穀物、そして古い折れた小枝を通して、神を発見し、神を熟考するでしょう。鳥の羽音、湿った緑のヘラジカの絨毯、あなたの行く手を阻むつつましいミミズ、宇宙が隠れている岩だらけの洞窟の中で、あなたは神の声を聞くでしょう。

姉さん、あなたは仕事の世界から、そして都会から来たのです… あなたは、今日の他のどの女性よりも、活発な瞑想の深い瞬間を必要としています。そうすれば、仕事に戻っても、あなたは瞑想者でいられるのです。そうでなければ、あなたは機械、魂のないロボットになってしまふでしょう… そうすれば、あなたの存在は意味をなさなくなります。

姉さん、神に身を委ねなさい。

あなたの兄弟はあなたにこれを要求しています
フランシスコ

アルミダ

樹齢数百年の木々の間

愛しい姉妹たちへ

今日、あなたたちがラ・ヴェルナ山に登っていることを嬉しく思います。

フランシスコが生まれ、彼と私たちにとってすべてが始まったスバシオ山のなだらかな斜面から、あなたたちは、フランシスコが十字架にかけられたキリストの傷のしるしをその肉体に受け、彼の体が最愛のキリストの体のようにされた、険しく岩だらけで水が入りにくいラ・ヴェルナ山を歩きます！

ここで私たちは、アッシジのオアシスに次ぐ、2番目のオアシスを建設したいと考えていましたが、問題がないわけではありませんでした！

私たちは戦時中にそれを実現しましたが、家具、特にマットレス用のウールを見つけることが不可能だったことを今でも覚えています。

「羊毛はたくさんの姉妹から届きました。小包や郵便小包、鉄道小包などです。大きな部屋が羊毛でいっぱいになりました。羊毛を洗ってきれいにし、新しいカバーをかけて、マットレスを81枚、枕やキルトも同じくらい作りました。」

それでも私たちは、美が崇高になり、愛の広大さに心が奪われるこの場所を、皆さんに体験していただきたいと心から願っていました。

そうです、この場所は本当に貴重です。なぜなら、ラヴェルナは、聖フランチエスコが若い頃の星空の夜にアッシジで直感した愛の道の地上の頂点を示す場所だからです。犠牲と陶酔、貧困、屈辱、喜びと至福の道です。

ここでフランシスコは、貧しく十字架にかけられたキリストを決定的に受け入れますが、彼がそうできるのは、次のような理由もあります。

彼はハンセン病患者の中でキリストを受け入れた

彼はサン・ダミアーノでキリストの話を聞いた

彼は貧しい人々の中でキリストに出会った

彼はキリストの人生における屈辱の中でキリストを認識した

彼はキリストの兄弟たちが彼に課した労苦と苦痛の中でキリストに従った…

この貧しく十字架にかけられたキリストは、私たちが名乗る愛の王です。

私は、この研究所が全教会とともに王権の意味を理解するために歩んできた道を、喜びとともに見てきました。私は、それが当時の教会における裕福で権力のあるフランシスコの歩みであると考えました。

彼は、皆さんのが耳を傾け、十字架にかけられ、傷つき、屈辱を受けた皆さんの中の男女の中に認識している王です。

彼は、しもべとなり、私たちに真の少数派であることを教える王です。「あなたたちのうちでいちばん偉い人は、すべての人に仕える者となりなさい」（マルコ9:35参照）。

彼は、フランシスコにそうしたように、平和への道を私たちに示すために命を捧げる、平和で謙虚な王です。

妹たちよ、愛の王である彼は、あなたたちに愛を注ぎます…彼を愛し、彼が愛されているのを見、どこにいても、いつでも彼を愛するように！

そして、私たちの偉大な兄弟であるフランシスコは、レオ兄弟に与えた祝福をあなたたち一人一人に繰り返します。

「主があなたたちを祝福し、守ってくださいますように。

主があなたたちに御顔を向け、慈悲を与えてくださいますように。

主があなたたちに目を向け、平和を与えてくださいますように。

主があなたたちを祝福してくださいますように。」

あなたのシスター・アルミダ

2024年7月27日

アッシジから全世界へ

シスター、おはようございます！兄弟フランシスコがあなたに語りかけます。

シスター クララが特別な挨拶を送ります。今朝の夜明けに、私はクララと少し話をしました。彼女はかなり短気で動搖していたと思います。彼女はすでにあなたが訪ねてくることを知っていました。いずれにしても、彼女は幸せで喜びに満ちていました。

彼女の目は特別な光で輝き、優しさと希望に満ちていました。

彼らは、あなたが夜のアッシジで見たと私に言いました。彼らは、あなたがポルタ・ヌオーヴァを通り抜けるときや町の広場に着くとき、あなたを観察していました。彼らは、あなたが時々思い出しているように見え、時々気が散っているように見えたと私に言いました。

サン・ルフィーノ大聖堂に隠れていた誰かが、遠くの柱の後ろからあなたを観察し、ある時点であなたの目から涙が流れ落ちたように見えたと私に言いました。そして、あなたが持っていたろうそくの明かりを通して、あなたの涙は二つのダイヤモンドのように輝いていました。

この街は、多くの愛、多くの苦しみ、多くの闘争、そして希望の証人でした。

今日、あなたは再び、高い塔、石造りの建物、優美な寺院、そして何世紀も前の扉があるアッシジの街にいます。ここは偉大な...権力者の街です。

私たちはこの街を去りますが、見捨てるためではなく、福音の新たな力すべてを証言するために去ります。

サンダミアーノの小さな教会に偶然入った日から、私の人生は変わりました。その日、サンダミアーノは空っぽで、汚れていて、荒廃していました。私は壁の十字架の前でまっすぐ進みました。

なんて素晴らしい瞬間だったのでしょう！

決して忘れません！

その朝に経験したことは、私の人生で最も素晴らしいことでした...

しかし、確実に言えることは、その瞬間、私にとって、キリストの顔が新しい光で輝いていたということです。

私は、傷つき血まみれの彼の体の中に、全世界の苦しみの凝縮を見ました。静かに永遠を見つめる彼の大きく見開かれた目を通して、隠され、失われつつある新たな地平線を私は理解しました。

今日の苦しみと未来への希望。これが十字架上の主との出会いで私が得た偉大な教えでした。こうして、そのときから私は人生の変化を感じ始めました。自分の存在に意味を与え始めました。

私はもうこの世の終わりのない虚栄心で自分を満たし続けることも、戦争という理不尽なゲームを考え続けることもできないと理解しました。

主と長い話をした後、不思議な力が私を小さな教会から連れ出したことを覚えています。私の足はとても軽くなり、心臓は早く鼓動し、私の目は宇宙全体を抱きしめたいと思いました。

そのとき私は再び谷間を見て、遠くのらい病患者の小屋で、今日彼らの間に十字架にかけられた方の血が流れていることを理解しました。

その瞬間から私の心は愚かな不安、世界の苦しみそのものを自分自身で引き受けたいという耐え難い欲求で満たされ、そして…それに気づかずに、涙が目から流れ落ちるのを感じました。

私はキリストの痛みと世界の痛みのために泣いていました。愛が愛されなかつたために泣いていたのです。

ああ！姉妹よ、とても個人的なことばかりでごめんなさい。あなたにそれを話すのはとても自然なことでした。

今のところ、そして結論として、サンダミアーノでの夜のことを考えるときには、立ち止まって祈り、十字架について考えてください。そうすれば、自分の国をどう見るかという点に別の意味が与えられるでしょう。

そこでは、生きるために必要なものも持たずに非人間的な状況で暮らす人々を見るでしょう。

そこでは、社会的な不正義に苦しむ人々や仕事を見つけられない人々を見るでしょう。

そこでは、言語、文化、肌の色で差別されている世界中からの移民を見るでしょう。

そこでは、本当の父親の愛撫を知らず、未来のないまま成長する子供たちの生氣のない顔を見るでしょう。

そこでは、個人的な問題をアルコールや薬物で紛らわす人々を見るでしょう。虐待を受けた女性たちの中に、それを見つけることができるでしょう。それを求める女性たちも、生き残るために他に選択肢がない女性たちも。

そこでは、他の人とは違った考え方や行動をしているため、困難に陥っている人たちを観察するでしょう。

そして最後に、そこには、生きる意味を失った人や、決してそれを見つけられないように運命づけられているように見える人たちが大勢いるでしょう。

他人を裁くことなく、柔軟で、平和で、冷静で、柔軟で謙虚で、すべての人に優しく話しかけ、そうあるべきです。そして、あなたが入るどの家でも、まず「この家に平和がありますように」と言いなさい。

姉妹よ、行きなさい。穏やかに、自信を持って生きなさい。あなたの唇の笑顔が消えることがありませんように。あなたの目に優しさが常に輝きますように。あなたの耳が常に耳を傾ける準備ができ、あなたの腕が歓迎のために開かれますように。信仰の光に照らされ、希望の力に駆り立てられ、愛の火に燃えながら、すぐに行きなさい。

シスター、主があなたを祝福し、いつも守ってくださいますように。

いつも主の慈悲を体験してください。

主の視線の下でゴールまで歩けば、主は平和という贈り物をあなたに与えて決してあなたを見捨てません。

姉さん、私はあなたがあなたの国、あなたの街に、小さな子供たちや貧しい人々と一緒に幸せに帰れることを祈っています。

今日あなたが亡骸の中で会うクレアと私は、あなたに平和とあらゆる幸せを祈っています。

あなたの兄弟
フランシスコ

アルミダ

無事に行ってください

親愛なる姉妹の皆さん、

私はフランシスコとその魅力的な生涯の物語に何時間でも耳を傾けたいです。

彼はまさに福音の生きた姿であり、福音の具体的な証人であると感じています。なぜなら、彼が望んだのは福音を生きることだけだったからです。

そして、それは私たちも望んでいることではないでしょうか。昨夜、私たちはそれを繰り返しました。

イエスのように生き、イエスの弟子になること。何よりも、イエスが愛したように愛すること。

それは、耳を傾け、祈り、熟考する勇気を必要とする魅力的な旅です。

私たちは常に主、サン・ダミアーノの十字架の前に身を置きましょう。今日、私は皆さんに聖フランシスコの十字架像のコピーを渡し、毎日主に目を向けることができるようになに持ち帰ってほしいとお願いしました。

サン・ダミアーノの十字架では、イエスの見開かれた目にいつも心を打たれてきました。それは世界に向かって大きく開かれた目であり、死にゆく者の目ではなく、生きている者の目です。

よく見ると、同じ十字架には他の人物も描かれています。この瞬間、イエスは死と復活の両方を思い出す唯一の人物ではありません。

私は自分の使命を徐々に理解するにつれて、完全にイエスの者でありながら、同時に一般の人としてこの世で完全に生きることも可能であることを理解しました。

そして、サン・ダミアーノの十字架に描かれた人物がまさにそれを示していることに気づきました。

イエスは人間となり、私たち人間性の一部となりました。マリアはイエスに私たちと同じ肉体を与え、私たちと同じようにイエスは痛みと死を経験しました。しかし、それは私たちに、イエスのこの肉体は私たちと同じように永遠の命に運命づけられており、神の最後の言葉は死ではないことを思い出させます。この十字架には、女性と男性、ユダヤ人と異教徒、聖人と罪人が描かれています…象徴的に、イエスの福音が届けられたすべての人類です。

さて、私の妹たちよ、私たちの愛する神父様がおっしゃったように。ジェメッリは私たちに次のように思い出させてくれました。

「フランシスコ修道士は世界を軽蔑しません… 恐怖や嫌悪感から社会から逃げません… 聖フランシスコの放棄は異なります。彼は人生の美しさを否定しません。それは彼の愛を否

定することになるからです。彼は愛を否定しません。彼は所有と所有欲を否定します。世界に留まりますが、ほんの少しも食べてはいけません。好きなだけ賞賛し、愛しますが、すべてのものに創造主の働きを見ます。

この貧しい自由は、私たちの信徒の召命の核心です。そうです、すべては主のために捧げられますが、それは世俗的です。最初の世紀のキリスト教の処女や殉教者のような「信徒の聖人」…世俗的だが「聖なる」、サン・ダミアーノ十字架の女性たちのように。

私は心が喜びで躍るのを感じました！

姉妹の皆さん、自分の人生を愛し、光と影のある世界を愛し、神が忠実であることを知つてください。

神は決して失敗しません！

私の人生には、どれほど多くの仕事、どれほど多くの障害、どれほど多くの苦難がありましたが、聖心はすべてを祝福し、私と私たちの行動を常に実りあるものにしてくださいました。

聖心は皆さん一人一人にも同じことをしてくださいます。

世界の奇跡に驚嘆することをやめないでください。神がすべてのものを名前で呼んでいると考えるだけで十分です（詩編 147:4）。

まさにこの十字架の視線のもとで、1919年に私たちの会が誕生しました。

11月のある日、イタリアでは空は灰色で雨がゆっくりと降っていましたが、私たちの心には太陽が輝いていました。

そうです、ここが私たちの靈的な家族が生まれた場所です！ 裸で貧しい十字架にかけられた王の目の下で、私たちの心に語りかけ続けます！ 愛しいサン・ダミアーノ！ 聖クララと彼女の姉妹たちが長い間そこに住み、最も純粋なフランシスコ会の伝統を守っていたため、私たちはここが大好きです！ 私たちの修道会の生活の多くが、この神聖で粗野な壁の中で行われたため、私たちはここが大好きです。 心の中でこれらの思い出を育んでください。それらも神からの贈り物です。

ご覧のとおり、サン・ダミアーノはアッシジの壁の内側ではありません。

平野と丘の中間に位置しています。壁で守られた富裕層の街と、壁も防御もない平野、貧しい人々が住んでいた場所の間にあります。

私たちの修道会がここで生まれたのは偶然ではないと思います。

貧しい人々が私たちの教師であり、主がご自身を同一視する人々であることを思い出させてくれます。

十字架にかけられた方、裸で血まみれの男、不当に非難され屈辱を受けた方を見つめると、小さな人々、苦しむ人々、抑圧された人々の中に主を見出すよう常に促されます。

それは、私たちが唯一可能な道は、サン・ダミアーノのキリストのように両手を広げて、武器を持たずに平和を築くことであるということを思い出させてくれます。

これは完全な喜びです。姉妹よ、良い旅を。私はいつもあなたのそばにいます！

私はクララの言葉あなたに挨拶します。

「私の祝福された魂よ、安全で平和に行きなさい。なぜなら…あなたを求める方は、あなたを聖別し、あなたを創造した後、聖靈をあなたに授け、いつもあなたを私の母、私の愛する息子のように見てこられたからです。

そして主よ、私を創造してくださったあなたに祝福がありますように。」

あなたの姉妹アルミダ